資料４

新型コロナウイルス感染症罹患後症状（後遺症）について

１　現　状

・　少数ではあるが、重篤な新型コロナウイルス感染症罹患後症状（以下「コロナ後遺症」という。）を有する患者から支援を求める声が県に寄せられている。
・　今年１月には知事が罹患後症状患者と面会
・　全数調査は難しいが、潜在的に重症患者が一定数存在するものと推測

２　患者からの主な要望内容（例）

・　通院や育児が困難な患者へのオンライン診療や生活支援の拡充
・　地域で往診対応を行う医療機関の増加
・　医師や医療機関に対するコロナ後遺症の周知（知識・対応の共有）
・　根本的な治療は困難であっても患者の話を聞き、対症療法を行ってくれる医療機関を増やしてほしい。症状に寄り添い一緒に考えてほしい。
・　コロナ後遺症の総合診療が可能な医療機関の確立
・　コロナ後遺症を専門的・継続的に診られる医療体制の整備
・　医療・福祉・就労が連携した分かりやすい相談体制の構築
・　「見えにくい症状」を抱える人と、その家族への社会的理解の促進

３　県の取組（現状）

・　県ホームページにコロナ罹患後症状診療医療機関一覧表を掲載
・　医療機関に対し「新型コロナウイルス感染症診療の手引き 別冊 罹患後症状のマネジメント(3.1 版)」を再周知
・　知事会要望（全国知事会・中部圏知事会)、国要望（厚生労働省）の実施
　〈要望事項〉- コロナ後遺症研究の継続と予算拡充
　　- 研究成果のわかりやすい公表
・　後遺症患者や医療機関を訪問（現状・課題の把握）

４　ご意見を伺いたい事項

・　コロナ後遺症患者の状況について（各所属等で事例を把握されている場合）
・　コロナ後遺症の患者会・ピアサポートについて（県内の患者会の存在や、ピアサポートの活動に熱心に取り組む医師等）
・　コロナ後遺症患者の支援のために必要な取組について